

# 府政運営の基本方針 2026

## 第1 基本方針

1. 基本的な考え方
2. 政策創造（重点的に取り組む分野）
3. 財政運営
4. 組織運営

## 第2 知事重点事業

### 「府政運営の基本方針」とは…

大阪府がめざす将来像の実現に向け、「政策創造（重点的に取り組む分野）」や「財政運営」、「組織運営」などに関し、全庁統一の視点により翌年度において取り組むべき府政の大きな方向性を示すもの。

## 第1 基本方針

### 1. 基本的な考え方

「世界の課題解決への貢献」と「大阪の持続的な成長・発展」。この2つを大きな目標に昨年開催された大阪・関西万博は、連日大いに賑わい、そして多くの成果をもたらした。

万博関連投資や来場者による需要の増加等による経済波及効果は、全国で3.6兆円（※国による暫定試算）、大阪府域で2.1兆円（※大阪府・市による暫定試算）と試算されるなど、我が国経済に大きなインパクトを与えた。

加えて、万博を旗印に、ライフサイエンス・ヘルスケア、カーボンニュートラル、デジタル、AI・ロボット、新モビリティなどの分野で様々なイノベーションが加速した。こうした革新的技術を確実に社会実装することで、さらなる成長と、世界の課題解決、人々の豊かな暮らしにつなげていく。

世界に対する「扉」も大きく開いた。参加各国との間では、文化、ビジネス、外交など、今後の展開につながる新たな関係が次々と築かれ、とりわけ子どもたちは、初めて知る国の人々との触れ合いや、「未来社会」に心を躍らせた。また、万博に合わせ、多くの国際的イベントも開催。ユニバーサルデザインの普及、ボランティアの活躍など、大阪のまちの「おもてなし力」のアップなども相まって、OSAKAのプレゼンスは大きく向上した。

こうした万博の成果を糧に、大阪の成長軌道を一気に押し上げる。現在の勢いのまま、大阪の飛躍に向けた第2フェーズへと駆け上る。令和8年度は、そのスタートに当たる重要な年。

めざすところは、日本の成長を力強くけん引し、非常時には首都機能のバックアップを担う「副首都・大阪」の早期実現である。現在、国においても副首都に関する検討が進められている。万博のレガシーを活かし、大阪府・大阪市一体で、世界に伍する経済力・都市力と、唯一無二の魅力を持つ「副首都・大阪」を創り上げる。そして、府民の豊かな暮らしや安全・安心、ウェルビーイングの向上につなげていく。

令和8年度は、こうした取組を強力に推進するとともに、物価高騰など現下の課題にもしっかり対応することで、大阪のさらなる飛躍に向け、大きく踏み出していく。

## 2. 政策創造（重点的に取り組む分野）

令和8年度は、基本的な考え方に基づき、万博のレガシーを最大限に活かし、「副首都・大阪」の早期実現に向け取組を加速する。そしてそれを、誰もが安心していきいきと暮らせる社会の実現や、次代を担う子どもたちへの投資につなげていく。

これら3つの柱ごとに、重点的に取り組む分野を設定し、全庁一丸となって政策創造を図る。

### （1）万博のレガシーを活かした「副首都・大阪」の早期実現

#### ① さらなる成長の加速

- 万博のレガシーを活かした成長産業の創出
- 世界との戦略的交流
- 成長を支える人材の確保・育成

#### ② 都市力の向上

- 世界の人々を惹きつける都市魅力の向上
- 「副首都」化を見据えたまちづくり・都市基盤整備

### （2）誰もが安全・安心にいきいきと暮らせる社会の実現

- 物価高騰に対応し、府民や事業者を支援する取組の推進
- 府民のいのちと健康、安全・安心を守る取組の推進
- 府民のいきいきとした暮らしの充実に向けた取組の推進

### （3）次代を担う子どもたちが自らの可能性を追求できる社会の実現

- 子どもたちの「学び」の環境の充実
- 国際社会で活躍できる力を育む教育の推進
- すべての子どもたちの健やかな成長を支える環境の充実

### 3. 財政運営

「自律的で創造性を発揮する行財政運営体制の確立」に向けた改革の取組を継続しつつ、財政運営基本条例に基づき、将来世代に負担を先送りしないことを基本に、財政規律、計画性及び透明性の確保に取り組み、健全で規律ある財政運営を行っていく。

#### ◇令和 8 年度当初予算編成の基本的な考え方

令和 8 年度当初予算編成においては、厳しい財政状況から一定脱却しつつある中、引き続き財政規律を堅持しつつ、万博のレガシーを最大限に活かし、「副首都・大阪」の早期実現に向けた取組や、次代を担う子どもたちへの投資に限られた財源の重点配分を行う。

各部局においては、物価高騰など現下の課題に対応しつつ、これまで以上に部局長マネジメントを発揮し、スクラップアンドビルド等を行い、既存事業にとらわれることなく、事業の重点化に取り組むこととする。

#### ◇財政収支の見通し

本府財政は、主たる税収である法人二税の景気による変動に加え、人件費や社会保障関係経費など義務的支出の増加や金利上昇の傾向があり、財政運営上の懸念が依然として存在するが、府税収入は堅調に推移している。

そうした中においても、令和 8 年 2 月の「財政状況に関する中長期試算」では、令和 13 年度まで、バブル後に大量発行した府債の最終償還の到来などがあり、今後も収支不足が続くと見込まれるため、財政調整基金の取崩しが必要であるが、年度を通じた効果的・効率的な予算執行により、その縮減に努める。

## 4. 組織運営

万博のレガシーを活かし、「副首都・大阪」の早期実現に向けて大阪の持続的な成長・発展をめざすとともに、多様化・複雑化する行政ニーズに的確に対応するため、適切な体制の構築や、優秀な人材の確保・人材育成等に取り組むことが必要である。

そのため、「組織・人事給与制度の今後の方向性（案）」（令和6年3月策定）において示した以下の基本理念に基づき、効率的・効果的な行政運営を図っていく。

- 若手からベテランまで、全ての職員が能力を最大限に発揮し、活躍できる大阪府庁へ
- 組織として最高のパフォーマンスを発揮できる大阪府庁へ

### ◇令和8年度の人員体制編成の考え方

令和8年度当初人員体制編成においては、「副首都」の早期実現に向け体制を強化するとともに、万博で披露された最先端技術の産業化・実装化をはじめ、大阪の成長・発展に資する施策を確実に実行していくための体制を整備する。

また、事務事業の見直しやDXの推進等による業務の効率化等を行い、組織のスリム化に取り組んだ上で、府政の重要課題に着実に対応していくため、限られた人員を重点的に配置していく。

### ◇活力ある組織の実現に向けて

生産年齢人口の減少を背景に、今後より一層、人材確保の厳しさが増す中、将来にわたって現行の職員数を維持し続けることは困難になると見込まれる。このような状況を踏まえ、職員を本府にとっての最大の資本ととらえ、職員一人一人を大切に、仕事を通じた個人の成長と自己実現を支援することで、人と組織のポテンシャルを最大限引き出し、組織の価値と総合力を高められるよう、戦略的な人材確保や人材育成、魅力的な職場環境の整備等に取り組む。

#### （人材確保・人材活用）

優秀な人材の確保及び職場定着に向けては、採用試験等の見直しや人事制度の充実のほか、職場の魅力発信の強化等の新たな取組について、検討を進め、着実に実行していく。

また、女性職員の幅広い分野や管理職への積極的な登用、役職定年者などベテラン職員の適切な配置、外部専門人材の更なる登用などを進め、様々な人材を最大限に活用していく。

### （人材育成）

職員の経歴の多様化や在籍年数の浅い職員の増加に対応するとともに、組織力の底上げにつなげることができるよう、職階等に応じた能力・スキルの確実な習得に向け、より一層職員研修（Off-JT、OJT）の充実・強化に取り組む。また、主体的なキャリア形成が可能な制度や大学・民間企業等との交流機会を充実させ、高度な専門性を持つ人材やチャレンジ意欲の高い人材の育成に取り組んでいく。

### （職場環境整備）

全ての職員が心身ともに健康で、意欲を持っていきいきと働き続けることができるよう、ワークライフバランスの実現に向け、フレックスタイム制度の利用促進やテレワークの推進など、柔軟な働き方のさらなる浸透を図る。また、長時間労働の是正やハラスメントの防止、育児休業等の取得促進などに一層取り組み、働きやすく風通しのよい職場環境づくりを進めていく。

## 第2 知事重点事業

「第1 基本方針」に基づき、以下のとおり知事重点事業を進める。

以下の表中、太字は「新規」の知事重点事業をさす。

「新規」：令和8年度から新たに取り組む事業

(前年度からの継続事業のうち、施策の再構築等により新たな取組を行うものを含む。)

「継続」：前年度から継続して取り組む事業

### (1) 万博のレガシーを活かした「副首都・大阪」の早期実現

#### ①さらなる成長の加速

「副首都・大阪」の早期実現に向け、万博のレガシーを活かし、大阪の成長軌道をさらに高みに引き上げる。

万博で披露された最先端技術等について、オール関西で実装化を加速させる。あわせて、Nakanoshima Qross における一気通貫の伴走支援等による未来医療の産業化や、ペロブスカイト太陽電池をはじめとするカーボンニュートラルに資する先進技術の開発支援、全国に先駆けた空飛ぶクルマの商用運航実現に向けた取組を進める。さらに、国際的なイベントの開催等を通じ、世界で活躍する有力なディープテックスタートアップの輩出をめざす。

万博を機に広がった世界とのネットワークを戦略的に充実・強化し、府内企業のビジネス展開支援や投資の呼び込みにつなげる。また、成長産業を支える専門人材の育成や、多様な人材が活躍できる環境整備を進める。

<b>◆万博のレガシーを活かした成長産業の創出</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・最先端技術の実装化の加速</li><li>・健康・医療関連産業のリーディング産業化</li><li>・カーボンニュートラルの実現に向けた取組の推進</li><li>・新モビリティの実現に向けた取組の推進</li><li>・スタートアップエコシステムの推進</li><li>・新たな成長分野へのチャレンジ</li><li>・成長産業の立地促進</li></ul>
<b>◆世界との戦略的交流</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・万博を契機とした戦略的国際交流の推進</li><li>・国際金融都市の推進</li></ul>
<b>◆成長を支える人材の確保・育成</b>

- ・成長産業を支える人材の育成
- ・中小企業等の生産性・稼ぐ力の向上
- ・多様な人材が活躍できる環境整備

## ②都市力の向上

「副首都」化を見据え、世界で存在感を放つ都市の魅力づくりや、成長と安全・安心を支える都市基盤整備を強力に進める。

IRをはじめとする世界水準のエンターテインメントや、大阪ならではの新たなコンテンツの創出・発信、MICEの誘致促進等に取り組む。あわせて、来阪旅行者の増加に伴う課題への対策や、受入環境整備を進める。

夢洲や大阪城東部地区など成長の拠点となるまちづくりや、淀川左岸線、なにわ筋線、大阪モノレールをはじめとする道路・鉄道ネットワークの充実・強化に取り組むとともに、重要性が増すデジタルインフラ整備について、官民での検討を進める。あわせて、インフラの老朽化対策や、三大水門の更新をはじめとする災害に強いまちづくりに注力する。

◆世界の人々を惹きつける都市魅力の向上
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪の魅力の磨き上げ・発信</li> <li>・IR実現に向けた取組の推進</li> <li>・府内周遊の促進</li> <li>・来阪旅行者の受入環境整備</li> <li>・全国豊かな海づくり大会の開催</li> </ul>
◆「副首都」化を見据えたまちづくり・都市基盤整備
<ul style="list-style-type: none"> <li>・成長の拠点となるまちづくり</li> <li>・道路・鉄道ネットワーク等の充実強化</li> <li>・デジタルインフラの整備促進</li> <li>・インフラ老朽化対策の推進</li> <li>・災害に強いまちづくり・都市基盤整備</li> </ul>

## (2) 誰もが安全・安心にいきいきと暮らせる社会の実現

大阪の経済成長による果実を、府民の安全・安心の確保や、ウェルビーイングの向上につなげていく。

物価高騰が続く中、今年度補正予算で対応した子ども・若者等への食費支援などに加え、中小企業の賃上げ環境の整備に重点的に取り組む。

府民の安全・安心を守るため、南海トラフ地震等の被害想定見直しを踏まえた対策の検討や医療機関等の災害対応力強化等を図る。また、ギャンブル等依存症への対策や、特殊詐欺被害の防止、健康寿命延伸に向けた取組を強化する。

誰もがいきいきと暮らしていけるよう、デジタル化による行政サービスの利便性向上や、地域公共交通の確保・維持、認知症や障がい者の方も含めた共生社会の実現をめざす。あわせて、人口減少下においても住民サービスを将来にわたって安定的に提供できるよう、基礎自治機能の充実・強化に取り組む市町村を積極的に支援する。

<b>◆物価高騰に対応し、府民や事業者を支援する取組の推進</b>
<b>・物価高騰の影響を受ける府民・事業者への支援</b>
<b>◆府民のいのちと健康、安全・安心を守る取組の推進</b>
<b>・災害対応力の強化</b> ・感染症対策の充実・強化 ・都市緑化を活用した猛暑対策の推進 <b>・ギャンブル等依存症対策の強化</b> ・性犯罪・性暴力被害者への支援の充実 ・特殊詐欺被害防止対策の推進 ・自殺対策の強化 ・インターネット上の人権侵害事象への対応 ・孤独・孤立等福祉課題への対応 <b>・健康づくりの推進</b>
<b>◆府民のいきいきとした暮らしの充実に向けた取組の推進</b>
・SDGs の推進 ・デジタルサービスの実装による利便性向上 ・共生社会の実現に向けた取組の推進 ・地域公共交通の確保・維持 ・基礎自治機能の充実・強化 ・安定的な行政サービス提供のための人材確保

### (3) 次代を担う子どもたちが自らの可能性を追求できる社会の実現

大阪の未来を担うのは子どもたち。豊かで暮らしやすい大阪を次世代に引き継いでいけるよう、子どもたちへの投資を重点的に進めていく。

子どもたちが自らの可能性を追求できる社会の実現に向け取り組んできた、高校、大阪公立大学等の授業料等完全無償化が、いよいよ全学年で実現する。高校の選択肢が広がる中、公私が切磋琢磨して大阪の教育の質をより一層高めていくため、府立高校において、産学官共創プログラムの実施や内装リニューアル等、教育の内容・環境両面で魅力化・特色化を図っていく。

また、万博を通じて「世界」を身近に感じた子どもたちが将来グローバルに活躍できるよう、府立高校における海外姉妹校との交流によるコミュニケーション能力の向上や、海外を訪れ、現地の先進的な取組を学ぶ機会の提供などを通じて、国際的視野の涵養を図る。

加えて、すべての子どもたちの健やかな成長を支える環境の充実を図るため、不登校の子どもたちの学びへのアクセスの保障や、児童虐待対応の強化、子どもの貧困・ヤングケアラー等、困難を抱える子どもへの支援に取り組む。さらに、結婚や妊娠・出産等、段階に応じた多様な支援ニーズに対してきめ細かな支援を行う少子化対策を進める。

<b>◆子どもたちの「学び」の環境の充実</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・高等学校等授業料無償化</li><li>・大阪公立大学等授業料等無償化</li><li>・大阪公立大学の「知の拠点」としての機能強化</li><li>・府立高校の魅力化・特色化</li><li>・専門的な学びの充実</li><li>・教育環境の整備</li></ul>
<b>◆国際社会で活躍できる力を育む教育の推進</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・グローバル人材の育成</li><li>・英語教育の推進</li></ul>
<b>◆すべての子どもたちの健やかな成長を支える環境の充実</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・不登校等の児童・生徒への支援の充実</li><li>・日本語指導が必要な児童・生徒への支援の充実</li><li>・児童虐待対応の強化</li><li>・困難を抱える子どもへの支援の充実</li><li>・少子化対策の推進</li></ul>